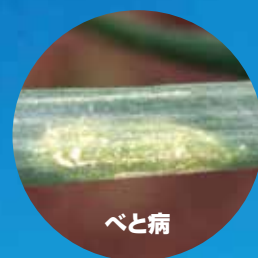


殺菌剤

シグナム® WDG

®:BASF社の登録商標

たまねぎの べと病・小菌核病・ 灰色かび病防除に!



べと病



小菌核病



灰色かび病



白色疫病

適用病害と使用方法(たまねぎ抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロピンを 含む農薬の 総使用回数	ポスカリドを 含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	灰色腐敗病、灰色かび病 べと病、小菌核病 白色疫病	1500	100 ~ 300	収穫7日前まで	3回 以内	散布	4回以内(定 植前は1回以 内、定植後は 3回以内)	4回以内(定 植前は1回以 内、定植後は 3回以内)
	灰色腐敗病	500	—	定植直前	1回			

たまねぎ / 灰色腐敗病



キャベツ / 菌核病



はくさい / 白斑病



レタス / 灰色かび病



アスパラガス / 茎枯病



トマト / 葉かび病



すいか / 炭疽病



いちご / うどんこ病



にんじん / 黒葉枯病



にんにく / さび病



2つの有効成分で幅広い病害をブロック!

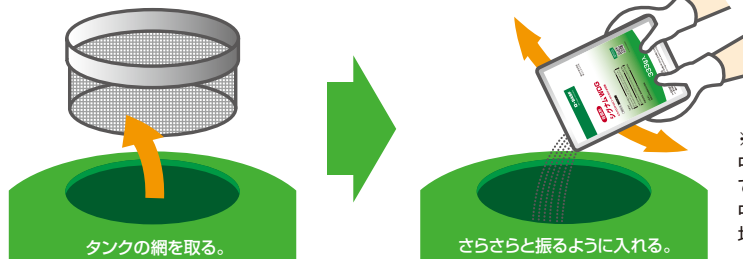
●作用性の異なる2つの有効成分で、広範囲の病害を抑えます。●優れた予防効果と残効性を発揮します。

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロピンを 含む農薬の 総使用回数	ボスカリドを 含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	灰色腐敗病	500	—	定植直前	1回	5分間セル苗浸漬 5分間苗根部浸漬	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)
	灰色腐敗病、灰色かび病、べと病、小菌核病、白色疫病	1500						
ねぎ	べと病、黒斑病、さび病	1500~2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
キャベツ	菌核病、株腐病、黒斑病							
はくさい	べと病	1500~2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
	菌核病、炭疽病	1500						
レタス	白斑病、黒斑病、べと病	1500~2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
非結球レタス	灰色かび病、菌核病、すそ枯病	1500						
ブロッコリー	べと病	1500~2000	100~300	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
パジル	菌核病、黒すす病	1500						
アスパラガス	べと病	1500~2000	100~500	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
さやえんどう	うどんこ病、黒すす病	1500						
実えんどう	うどんこ病	2000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
なす	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐色斑点病	1500						
トマト	すすかび病	1500~2000	100~300	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内
ミニトマト	葉かび病、灰色かび病	2000						
ピーマン	すすかび病、うどんこ病、菌核病	2000	100~300	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
とうからし類	うどんこ病、炭疽病、黒枯病、灰色かび病							
すいか	炭疽病、うどんこ病	1500~2000	100~300	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
	つる枯病	1500						
かぼちゃ	菌核病、褐色腐敗病	1500	100~300	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内
いちご	うどんこ病、炭疽病	2000						
にんじん	うどんこ病、炭疽病	1500~2000	100~300	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
にんにく	灰色かび病	2000						
にんにく	黒葉枯病、うどんこ病、斑点病	2000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
にんにく	さび病、白斑葉枯病、黄斑病、葉枯病	1500						

シグナムWDGの溶かし方

タンクに水を張った後、タンクの網を取って、直接タンクにさらさらと振りように入れてください。



※シグナムWDGは水中での分散性が優れているので、タンクの中でただちに分散し均一に溶け込みます。

△効果・薬害等の注意

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- なすに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるので、さけてください。
- 蜜に対して影響があるので周辺の蜜葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

△安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないよう注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

△水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
- また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

△貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空容器は畑場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。● 防除日誌を記載しましょう。

本資料は2020年7月の知見に基づいて作成されています。